

2014年度 学校評価報告書（京都聖母学院幼稚園）

学校目標 (園目標)	カトリックの人間観・世界観にもとづく教育をとおして、子どもたちの心を、たくさんの「大好き」でいっぱいにする。
---------------	--

校長名 (園長名)	寺井朝子
--------------	------

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことが大好きな（自己肯定感をもつ）子ども、お友だちや周りの人が大好きな子どもを育てる。 ・様々なことに興味関心を持ち、何事にも積極的に行動できる子どもを育てる。 ・地域貢献や子育て支援の充実をはかる。 ・研修をとおして、教員のスキルを上げる。
------	--

学 校 自 己 評 価				
目 標		評 価		
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果	次年度への課題と改善
1	・自分のことが大好きな（自己肯定感をもつ）子ども、お友だちや周りの人が大好きな子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで聖書の紙芝居や神さまのお話を聴く時間をもつ。月1回の合同集会を実施する。 ・たくさんの友だちや教員、来園者と関わりを持ち、考えや思いを伝えあったり共有することで、信頼関係を築けるよう導く。 ・震災復興支援バザーをとおして、東北の方々のことに関心を持ち、自分たちができることを考え、行動に移していけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で合同集会を行い、管理職による神さまのお話を聴くことで神さまへの関心が高まった。 ・日々の保育の中で、自分の思いを言葉で伝えていけるように指導し、教員が一人一人の思いに寄り添いながら、相手とのコミュニケーションをとれるよう援助していくことを心がけた結果、「ありがとう」「ごめんない」「いいよ」など、素直に言える子どもたちの姿が見られた。 ・新聞やテレビで報道されている東北の様子を子どもたちに伝え、被災地の方々のために祈りの時間を設けたり、子どもたちの手作りの品をバザーで販売した。また、被災地から届いたお礼のメッセージなどを園に掲示することで、子どもたちにより一層の被災地に対する意識が芽生えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人教員のスキルアップをはかり、各クラスでの神さまのお話の内容を充実させる。また、他所属の聖堂訪問を積極的に行う。 ・子どもたちの日々の様子を把握し、保育に活かすとともに、保護者との連絡を密にし、園での子どもたちの様子を伝えることで安心していただいたり、ともに考えていくことで、より連携を強化していく。 ・震災が過去のこととして忘れられることのないよう、今後も活動を続ける。また、支援の仕方も寄付だけにとどまらず、現地との交流（手紙等）も含めて検討する。
2	・様々なことに興味関心を持ち、何事にも積極的に行動できる子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年、正課の英語保育を実施する。 ・年3回の園外保育や栽培活動・餅つき大会を実施する。 ・小学校の体験授業や交流会を実施する。 ・園庭遊びの時間を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年少組から英語にふれ親しむことで、早期の異文化交流ができた。 ・体験活動を充実させるため、園外保育等に加え、幼稚園バス体験や藤森探検などを実施した。家庭や園内では経験できないことができ、子どもたちも楽しみながら参加することができた。 ・様々な交流をとおして小学生にあこがれを持ち、子どもたちの中で小学校進学への期待が高まった。 ・自由に園庭で遊ぶことで友だちとの関わりが密になり、遊具をうまく使って遊ぶことができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期英語教育のニーズは多く、京都聖母学院小学校の国際コースに関心をもつ保護者も増加していることから、今後も続けていく。 ・芋ほりやバス体験など、様々な体験活動を増やしたことについては、子どもたち・保護者ともに評価は高かったが、学年によって活動内容が異なり、昨年度の体験内容と変更が生じたため、「楽しみにしていた体験ができなかった」との意見をいただいた。今後、新カリキュラムに基づき、3年間をとおして、全ての体験活動に参加できるようにする。 ・小学校との交流は子どもたちや保護者にも大変好評である。一貫教育・内部進学のみを知っていただくよい機会であるので今後も続けていきたい。 ・熱中症注意報や光化学スモッグなどの影響により、晴れていても園庭で遊べないこともしばしばあった。気候にあわせ、時間帯をずらして園庭で遊ぶよう工夫する。
3	・地域貢献や子育て支援の充実をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援イベント「せいぼであそぼ！」を年間9回実施する。 ・地域子育て支援講演会を実施する。 ・園庭開放を年間3回実施する。 ・「根っこを育てる会」を年間5回実施する。 ・広報課との連携を強化し、ホームページのブログ更新や広告物の見直し・広報エリアの拡大をとおして、本園の教育をわかりやすく地域や保護者の方々に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児とその保護者の方が参加くださり、本園の教育や取り組みについて関心を持っていただくことができた。 ・地域の子育て奮闘中の方々をはじめ、多くの方が参加してくださいました。講師の澤口氏による「脳と食育」というテーマの講演内容も参加者増加につながった。 ・安全な遊び場を提供し、なおかつ園の施設を知っていただくことができた。 ・携帯でもホームページを見ていただけるよう、トップページの画像設定を更新した。 ・幼稚園バスルート周辺に重点を置いたエリアにチラシを配付した。 ・Aitoに赴き、2度にわたって出張エッセイズ体験などを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年イベントとして定着化しつつあり、新規参加者とリピーターも増えている。各回の取り組みがマンネリ化しないよう、新たな企画を考えていく。 ・子育てについて保護者が知りたい内容や情報を精査し、講師・講演内容などを考えていく。 ・園庭開放日の周知が足りず、参加者が少なかった。次年度は園庭開放日数を増やし、チラシ等配付で周知を図る。 ・より見やすいホームページにするため、ページの見直しを行う。写真の掲載を増やし、在園児保護者の満足度を上げていく。 ・幼稚園バスルートの見直しを行い新ルート・新バス停の設置を検討する。 ・藤森近辺や地域子育て支援施設等での出張エッセイズ体験会など、回数を増やして実施する。
4	・研修をとおして、教員のスキルを上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・神父様による講話を聴き、宗教研修を実施する。 ・エッセイズ指導に関する研修を実施する。 ・管理職による保育参観指導・公開保育を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神父様との日程が合わず、神父様による講話を聴くのは、全体研修のみとなった。カトリック教育支援室運営委員による宗教教育や祈りの時間を共有するひと時をもった。 ・ベテラン教諭によるエッセイズ指導方法について教員研修を行った。また、各学年で新教材を作り、子どもたちに提供した。 ・管理職による保育参観指導を行った。クラスに応じて必要な保育指導を教員にダイレクトに伝え、子どもたちにとって満足度の高い保育を提供できるように配慮した。公開保育については担任業務との兼ね合いで全教員で分かち合うことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリックに対して関わりの浅い新人教員も関心を深めることができるよう、体験活動を含めた研修を行う。 ・エッセイズ指導のさらなる研修を積み重ね、教員のスキルアップにつなげていく。 ・引き続き管理職による保育指導を行うとともに、公開保育を実施し、研修をする。

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>【保育内容について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな保育に満足している。 ・聖母の子は「優しい」というイメージと共に、「元気さ」がアピールできるとよい。 ・園庭開放の日数を増やし、在園児も利用できるようにしてほしい。 ・体験活動が充実してきたことはとてもよい。各学年平等に体験遊びを増やして欲しい。 ・小学校との交流会はとてもよい。図書館交流ではたくさんの貸し出しをしてほしい。 <p>【園生活について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝・預かり保育はとても助かっている。 ・幼稚園バスルートや停留所の見直しをおこなってはどうか。 <p>【行事について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとに子どもの成長がみられ、満足している。 ・親同士の交流・親睦が深められるような行事があるとよい。 <p>【家庭との連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談日以外でも、子どものことを相談できる。 ・ブログの更新頻度を上げてほしい。写真があると幼稚園での子どもたちの様子が大変わかりやすい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児保育のさらなる充実を望む。 	